

問合せ調査の形式により施行す。即ち別紙B號の如き調査票を本研究より被調査者に對し直接送付し調査事項を記入せしめたる上九月五日迄に同封の返送用封筒により返送せしむ。

三、調査ノ事項

(1) 夫妻に關する調査事項

- 1 氏名
 - 2 出生の年月
 - 3 職業
 - 4 初婚再婚の別
 - 5 事實上の婚姻年月
 - 6 死亡の場合の年月
- (2) 出生兒に關する調査事項
- 1 出生の順位
 - 2 男女の別
 - 3 出生の年月
 - 4 死亡の場合の年月

勞働母性の不妊並死産調査の施行

高度國防國家建設に伴ふ女子の産業戦線への需要は愈々強化されむとするの傾向あり而して之が將來の母性的活動殊に母性勞働の妊娠、産褥、哺育等に及ぼす影響は頗る重大にして近時母性勞務者にして不妊又は死産早産の多きを聞くは憂慮に堪へざる所である。仍て本研究所に於ては我が國人口政策の一部たる母性勞務者保護對策樹立の基礎資料たらしむるため「勞働母性の不妊並死産調査」を實施することに決定したが、其の調査要綱を掲ぐれば次の如くその調査票を示せば別掲の如くである。

〔多産者家系調査表裏面〕

記入上ノ注意 (インキ又ハ墨ヲ書イテ下サイ)

(一) 夫妻ニ關スル調査事項

イ、「職業」ハ出來ルダケ詳シク書イテ下サイ
 例ハ「農業(地主、自作、自小作、小作、小作及ビ時日傭等ノ別)、青物商、魚行商、土木工事請負等」
 ロ、「農業ノ場合ハ耕作反數」
 現在田畑ヲ耕作シテキル場合ハ反未滿ヲ切り捨テ何町何反ト記入シテ下サイ
 ハ、「夫妻ノ平均月收」
 夫妻ノ收入ヲ合計シタ月額平均ノ金額ヲ圓未滿ヲ切り捨テ、書イテ下サイ

(三) 子供ニ關スル調査事項

イ、父母ノ間ノ實子全部ニ就テ記入シテ下サイ、生レテ直グ死ンダ子供モ書イテ下サイ、先妻ノ子、連子、父又ハ母ノ異ル子供ハ書カナイデ下サイ
 ロ、男ハ「男」ニ女ハ「女」ニ〇ヲ書イテ下サイ
 ハ、子供ノ中デ結婚シタ者ハ「配偶者ノ有無」ノ欄ノ「有」ニ〇ヲ書キマダ結婚シナイ者ハ「無」ニ〇ヲ書イテ下サイ
 ニ、子供ガ結婚シテ子供ヲ生ンデキル場合ハソノ數ヲ書イテ下サイ、生レテ直グ死ンダ子供モ加ヘテ下サイ

ホ、「夫ノ同胞數」ハ夫ト同ジ父母カラ生レタ兄弟姉妹ヲ全部數ヘテ下サイ
 夫自身モ死ンダ者モ(生レテ直グ死ンダ者モ)數ノ中ニ加ヘテ下サイ
 父又ハ母ノ異ル同胞、養子等ハ數ヘナイデ下サイ
 イ「妻ノ同胞數」モ同様記入シテ下サイ

(四) 夫ノ同胞ニ關スル調査事項

夫ノ同胞ノ中デ現ニ生キテキテ而モ配偶者ヲ有スル者ニ就テ姓名、年齢(數ヘ年)現住所ヲ書イテ下サイ、父又ハ母ノ異ル同胞ハ書カナイデ下サイ
 妻ノ同胞ニ關スル調査事項
 右ト同様記入シテ下サイ

(二) 夫妻ノ父母ニ關スル調査事項

イ、「夫ノ父母ノ同居期間」

(五) 妻ノ同胞ニ關スル調査事項

右ト同様記入シテ下サイ

労働母性の不妊並に死流産の調査研究 究要綱

一、調査の目的

事變の擴大進展と共に女子の産業戦線への動員は愈々強化されんとする傾向にあり、而して之が將來の母性的活動に及ぼす影響甚だ大なるべきことは豫想に難からず、殊に母性労働の妊娠、産褥、哺育等に及ぼす影響は頗る重大にして近時母性労働者にして死流早産の多きを聞くは憂慮に堪へざる所なり。本調査は之が實情を明かにし、以て人口政策の一部たる母性労働者保護對策樹立の基礎資料を提供せんが爲に施行するものなり。

二、調査の客體

イ、母性労働者（九州地方の鑛山、日立製作所、其の他東京市内の工場従業者）
ロ、農村母性（本研究調査指定村二村、愛育村一村其の他）
ハ、有配偶女教員（東京市内國民學校及女學校教員）
ニ、一般家庭母性

三、調査の方法

所員自らの問診により或は委託により、調査の結果を所定の調査票に記入をなすものとす。調査を委託する場合には醫師、保健婦、産婆又は看護婦等妊産婦、乳幼児の保健指導の心得あるものに限るものとす。所員の指導の下に調査の實施に當るものとす。

四、調査の項目

(一) 住所氏名、夫の氏名、家計の主なる職業

(二) 夫婦に關する調査事項

- イ、生年月
- ロ、結婚年月
- ハ、初婚再婚の別
- ニ、生育地
- ホ、教育程度
- ヘ、健康状態
- ト、既往歴（主に結核及性病）
- チ、職業
- リ、収入
- ヌ、職業歴
- (三) 本人に關する調査事項

イ、本人の勤務状態（労働時間、労働程度、労働時の姿勢）

- ロ、初經
- ハ、閉經
- ニ、月經型
- ホ、白帶下

ヘ、現在妊娠（最終月經、浮腫、流産、齒痛等）

(四) 兒及分娩に關する調査事項

- イ、分娩順位
- ロ、體性別
- ハ、分娩年月
- ニ、分娩種類（妊娠月數、自然分娩、人工分娩の別、生死産の別）
- ホ、妊娠障害
- ヘ、妊娠時の職業

ト、分娩前の休養

チ、分娩經過（難易の別、難産なれば其の理由）

リ、異状妊娠

ヌ、分娩の場所及介補（病院、産院、自宅、醫師、家人、産婆、隣人の別）

ル、産褥經過（順、不順の別、不順なれば發熱、出血子痲等の別）

ヲ、分娩後の休養（ヘ、ト、ルの三項目は家庭外聯業に従事するものに就て記入）

ワ、出産時の體重

カ、生後六ヶ月迄の營養方法（天然混合又は人工營養の別、混合營養なれば添加物及開始時期、人工營養なれば使用營養品）

コ、兒現在死亡せし場合（死亡年月及死因）

(五) 就職による母性機能の變化に關する調査事項

- イ、月經
- ロ、分娩、産褥
- 五、研究すべき事項

(一) 死流早産に關する研究

- イ、母の労働、非労働別に見たる死流早産率
- ロ、労働状態別に見たる死流早産率
- ハ、出産順位別に見たる死流早産率

(二) 労働母性に關する出産力に關する研究

- イ、労働女子の結婚年齢
- ロ、労働母性の初妊期、不妊率、妊娠率
- ハ、労働母性婚姻継続期間別學子數

(三) 労働母性の母性的活動狀況に關する研究

- イ、妊娠、分娩、産褥狀況
- ロ、乳兒哺育狀況及乳兒死亡率
- ハ、月經狀況
- ニ、特に就職による變化

№.

世帯番號

母性調査票

昭和 年 月 日

調査者

町		市		區		郡		地		氏名		夫ノ名		家計ノ主ナル職業		年齢		月(舊月)		閉經		有無		備考											
府縣		市町		支庁		町		姓		名		姓		職		年		年		年		年		年		年									
村		町		支		支		姓		名		姓		職		年		年		年		年		年		年		年							
夫婦ニ關スル調査事項										出生年月		結婚年月		明和 大正		年 月		結婚時 明和 大正		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月		年 月					
分娩回数										胎數		健否		健		胎前產後		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日			
職業										職業		職業		職業		職業		職業		職業		職業		職業		職業		職業		職業		職業			
產程										胎前		胎後		胎前		胎後		胎前		胎後		胎前		胎後		胎前		胎後		胎前		胎後			
分娩年月										分娩月		分娩日		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間		分娩時間			
性										性		性		性		性		性		性		性		性		性		性		性		性			
分産回数										分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数		分産回数			
出生地										出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地		出生地	
分産月種類										分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類		分産月種類	
死産										死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産		死産	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	
分産月										分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月		分産月	

厚生省 人口問題研究所